

都道府県がん診療連携拠点病院がん相談支援センター四国ブロック会

(Web 会議) 議事録

2023 年 3 月 14 日 (木) 15 : 00 ~ 15 : 40

出席者 (17 名)	愛媛県	灘野 (四国がんセンター)	高知県	前田 (高知大学医学部附属病院)
		羽藤 (四国がんセンター)		四國 (高知大学医学部附属病院)
		松岡 (済生会今治病院)	香川県	山本 (高松赤十字病院)
		福島 (四国がんセンター)		穴吹 (高松赤十字病院) (代理)
	徳島県	金山 (徳島大学病院) (欠)		小田 (香川大学医学部附属病院)
		滝沢 (徳島大学病院) (欠)		岩田 (香川労災病院)
		尾形 (徳島大学病院)		三木 (香川大学医学部附属病院)
		秋月 (徳島大学病院)		
		高木 (徳島赤十字病院)		
		福田 (徳島大学病院)		
	近藤・宮越 (徳島大学病院)	事務局	安宅 (四国がんセンター)	

1. 四国ブロック相談支援部会について

四国ブロック会申し合わせ事項のその後の進捗状況

・(各県での承認状況)

愛媛：夏開催の専門部会、10月の幹事会で承認済み。愛媛県がん診療連携協議会のホームページに掲載済み。

香川：がん診療連携協議会で承認済み。ホームページへの掲載は未定。

徳島：2月にがん診療連携協議会で承認済み。ホームページへの掲載時期は未定だが、掲載の許可は得ている。

高知：承認済み。

2. 次期会長県とその後の担当について

・(予定では香川県、任期について)

次期会長県は、次にフォーラムを担当する県にお願いするため、香川県となる。

香川：23年度の引き受けは問題なし。しかし山本会長の任期は2年ため、4年となると難しい。

高知：4年は長いが1年だと短い。可能であれば2年で、研修会のタイミングを合わせていく。

徳島：2年ぐらいであれば対応可能か。

愛媛：任期は2年とし、臨機応変に対応する。

→23・24年度は香川が会長県。その後の会長県についてはブロック会で協議し、決定していく。

3. 今後のフォーラム、QA研修、相談支援・提供に関する研修等の開催計画について

・2023 情報から始まるがん相談支援 研修～地域展開版～ (徳島・香川)

愛媛：国立がん研究センターから、各地域 1 回限りで講師派遣に関する連絡があった。派遣の時期が 11～12 月となっているので、両県で話し合いを。

香川：香川と徳島で共同開催ができればいいなと思っている。

徳島：持ち帰り、前向きに検討する。

・QA 研修会について

愛媛：4 県を一巡した。23 年度、愛媛県で県内の相談員をメインに QA 研修を開催予定。3 県にも県内参加者数によって可能であれば案内したいと考えている。

高知：県での相談員研修会は、事例検討会をする予定。

香川：QA を含めて 3 月 17 日の会議で話し合う予定。次年度の担当者が決まり次第すすめる予定。

徳島：情報研修を共同でするなら、当県で QA 研修をしたほうが良いのか？と考えているが不確定。

→四国ブロックでの研修計画では、2025 年度徳島で広く QA 研修の予定。

国立がん研究センターから、他県の方の受け入れをするよう要望あり。各県での開催時には四国内の相談員が参加できる機会を心掛けて作り、相談員もこの機会を利用して参加することが望まれる。

4. その他・共有事項

・香川大学医学部附属病院で作成・管理の四国 4 県がん相談実務者連絡会メーリングリストについて
メールアドレス（変更）の連絡：各県の代表者は、香川県 事務担当 永尾さんまで

・令和 4 年度情報支援研修（高知開催用）ML とフォーラム（愛媛開催用）ML 終了について
どちらも終了

・これからの研修形態に関して

徳島：コロナのため Web 研修であったが、これからの各県の研修形態について教えて欲しい。

愛媛：先日、ワーキングの際に集合研修も開催したいとの意見があった。情報共有がし易いこともあり、来年度は集合研修を開催する方向。

相談員が本来大事にしていたものに力が入れられなかったのではと事例検討会を集合研修で、QA 研修はオンライン研修の予定。

高知：来年はオンライン研修の予定。集合研修は停滞のみ。部会としては集合研修でといっていきたい。

香川：未定。県内の感染状況をみて 3 月 17 日の会で検討していく。

・フィードバック体制について

各県の動きについては、まだ体制は整っていない。次年度の活動として準備している。

次年度の四国ブロック会でも共有できるとよい。

・愛媛県 灘野部会長 ご退官の挨拶、羽藤副部会長 来年度会長就任のご挨拶